

# 業界ほっとNOW

## パッシブ現場レポート②

前回、業界ほっとNowでご紹介しました、パッシブ改修のレポート第2回目は木製サッシです。

窓はパッシブ性能をクリアする上で重要なパーツになります。気密性能と断熱性能の両方に関係する木製サッシ。気密の取り方次第で建物全体の性能に大きく影響が出るため、特殊な部材を採用しました。

ロール状になっており、開梱シテープを施工後10～15分程度で約10倍に膨張する気密材です。その為、窓枠と柱の間は全く隙間の無い状況を作れます。



▲膨張気密テープ施工



▲膨張気密テープ



サッシの移動はユニックを使用し大人4名で取付を行いました。



▲ドレーキップ窓 締めた状態

▲ドレー：内開き

▲キップ：内倒し

ヨーロッパでは主流のドレーキップ窓。一つの窓で二つの機能を併せ持っています。内倒しで換気も行う事ができ、直接的な風ではなく柔らかな風が室内に取り込めます。



▲トリプルガラス(ガラス4mm+空気層18mm)



2013年5月20日 完成



一通り改修工事も終わり、オープンに向けて着々と準備が進められています。これから暑い季節の到来となりますが、暑い熊谷では是非パッシブハウスを体感して頂ければと思います。

(箕田・宮崎)

## 編集後記

先日、梅雨入りしましたが梅雨があけるといよいよ夏本番。暑い夏がやってきます。汗をかくことが好きな私にとっては最も好きな季節になります。夏バテしないためには水分の調整が大切です。木も調湿する様に体調もしっかりと管理して暑い夏も健康で過ごしましょう。

(箕田)

レッドパイン 大和屋  検索

受発注センター ☎ 048-526-1008

快適な住空間をご提供する大和屋株式会社

# かわら版通信

大和屋

建材部

〒360-0031 熊谷市末広2-118 TEL.048-526-1008

2013.07  
Vol.09

## ヨーロッパ森林事情報告

### スウェーデンの森林ストックは年々増加

スウェーデンでは森林を持続可能な資源と考え、地球環境保護の目的で計画植林・計画伐採が行われています。国土の面積の70%が森林(レッドパイン ホワイトスプルス シラカバ)で覆われ、森林の生長量の約80%しか伐採していないため、欧州で最大の木材備蓄量を有しています。



▲青空に向かいまっすぐ伸びるレッドパイン

### スウェーデンの山師に会う

今回の出張で、FSCの森林を管理している、山師の話を聞くことが出来ました。伐採してからの、植林には、人工植林と自然植林があります。人が、木を管理することで、光が均等に入り、水分の調整もできるので、すこやかに成長し、良材ができます。ホワイトスプルスは、苗木を人の手で均等に植えて、成長を待ち、レッドパインは、今まであった木を種木として数本残し、自然に成長を待ちます。



▲ホワイトスプルス苗木 3年目



▲レッドパイン 樹齢180年余りの種木



▲自信をもって説明する「マツ」さん

FSC(森林管理協議会 Forest Stewardship Council)とは適切な森林管理の推進を目的とした組織です。限られた資源を有効活用しながら、森を守るための仕組みです。適切に管理された森林で伐採された木材を積極的に利用することで、健全な森林の育成を支援するとともに、森林破壊・違法伐採などを抑制する役割を担っています。もちろん、森林を保全することは、その森林の生態系を守ることを意味しています。大和屋でもその取組に共感し、FSC認定商品をご提供させていただきます。

長い年月のかかる仕事であるが、次世代に引き継ぐためにも、今やらなければいけない仕事だと自信をもって話す山師でした。最後に、このスウェーデン人の山師の名前を聞くと「マツ」という名前であり、日本にも、木に対しても由来のある、いい名前だと感じることができました。

(野本)